



行發日五十二月四 夕刊 暮城新聞 電話 五五八〇 電話 五五八〇 電話 五五八〇

故郷の春

長野 文男

(上)

木曾平澤、詳しくは長野縣西筑摩郡ナラ川村平澤。母の里で私は小學校を卒業して、其の頃は祖父が本當に故郷の氣持で、母も丈夫で生きてゐたので、祖父が死んだ今では親戚と言つても叔父叔母、従兄弟と言つた、割合に縁の無いものばかりで、故郷と呼ぶには何か遠慮があるが、父母のある土地を故郷と呼ぶべきなら私には故郷はない。故郷の誇りを持った者は淋しい。だが木曾の山や川や叔父叔母は私をいつても故郷の温さで迎へてくれる。小學校時代の懐かしい純な印象の多い木曾平澤を故郷と呼びたい。

戦地の友に

加藤 文輝

空木の芽、たらの芽等が食糧を賑はす、子等は野へ山へと進發する。陽陰の裏山には未だ所々に残雪が残り、なつて残つてゐる。雪解けが始まる。

近衛首相

珠雲 小野務平

甲論乙駁捲風雪、白日陰陰閉不開、首相君々傾肺臆、一誠緩解議場來。

秘密小天狗

中川雨之氏作、近藤 鐵氏書

伊豆守様は、おまへの腕まへの魂なら、キツト此秘密の仕事を行き遂げると仰りしやうだ。

平局俳句會 一人一句集

○若草の土の温みへ腹ばひぬ、林節女、波邊波邊、綿貫千鶴女、大和田水明、○伐木の肌なまぐし春の雪。

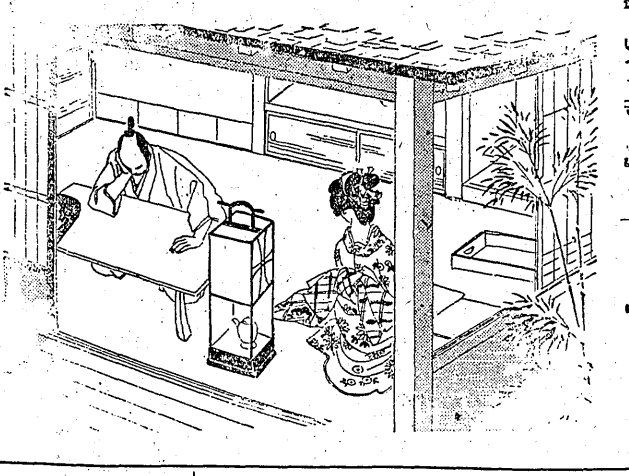
天氣 晴、明日は北西の風、午後...

と云つたが、綾瀬といふ兄の言葉が、駒路をばつと思はせてやうである。

綾瀬の息子で、俊作といふのは本物の青年武士で、柳生の同門の青年武士で、無二の親友であつた。

その二の親友であつた。その二の親友であつた。

「お、氣の毒とは、誰に切つて居る可愛、妹をまで失つたであらうと思つて



佛たんの前にすわり込んで居ることを忘れて俊作はいつまでも考へて居た。「まあ、兄さん、今日はと、うしてそんなに長くお話しして、お話しは、おまへの氣が付けだ。」

安齊醫院 院長 安齊 徹、外科、内臓外科、エツキス光線科、産婦人科、平市田町、電話 四七五五

胃腸性病院 内科、花柳病科、性病科、皮膚科、院 院、平市南町、電話 七〇一

石川シン商會、家庭経済の爲めに、家庭用品、日用品、電話 二二〇三

モノゲン 特許新洗剤、二丁目、中野洋品店、電話 二二〇三五

高島屋の洋服、男女學生服特賣、高島屋、平市二丁目、電話 三八六番

視力保全運動、玉屋眼鏡店、平市二丁目、電話 六四〇番

平病院 院長 鈴木定藏、内科、外科、小児科、電話 六四一

一六〇〇年祭、オリソピツクの帝都へ!!、店員募集、電話 二二〇三五

北川外科、外科一般、泌尿器科、平市二丁目、電話 六四〇番

鑛監分局と地方
鑛山監督局の分局設置が...

ガソリンの節約
最近に於ける業者間のガ...

戦死者の遺族紛争
調停委員会で...

力強い保護の手に
親日感情は生れる...

結核療養所設置
てした側地帯でその工費...

配當より先づ基礎を
積立金の増加に重点を置く...

地方各會社の最近傾向
東京に本社を有する大株東...

永へに薫るその武勳
古泉大尉以下の行賞
遺族聖恩にたな感泣

陸軍關係
△功五旭五 歩兵大尉古泉...

海軍關係
△功五旭六 兵曹長平子銀之助...

前線から銃後奉仕
本馬一等兵役場へ送金

力強い保護の手に
親日感情は生れる
市内平窪出身 木田英治君(通)

結核療養所設置
てした側地帯でその工費...

配當より先づ基礎を
積立金の増加に重点を置く...

行楽の人々
昨日の夜は...

店頭競技
來月九日から...

配當より先づ基礎を
積立金の増加に重点を置く...

地方各會社の最近傾向
東京に本社を有する大株東...

結核療養所設置
てした側地帯でその工費...

力強い保護の手に
親日感情は生れる
市内平窪出身 木田英治君(通)

結核療養所設置
てした側地帯でその工費...

小名濱港線
延額決る

温い苗代季
昨日各地で種播き...

利率の低下に逆行
國民貯蓄時代と地方

利子収入が増加
國民貯蓄時代と地方

郎八十婦六十五歳
或る種の問題をめぐって...

快朗な結婚風景
下に行き却つて増加した...

結核療養所設置
てした側地帯でその工費...

給仕募集
小名濱港線
延額決る

温い苗代季
昨日各地で種播き...

利率の低下に逆行
國民貯蓄時代と地方

利子収入が増加
國民貯蓄時代と地方

郎八十婦六十五歳
或る種の問題をめぐって...

快朗な結婚風景
下に行き却つて増加した...

結核療養所設置
てした側地帯でその工費...

石城銀行組合
謹告

警城無盡株式會社
謹告

鈴木醫院
謹告

鈴木醫院
謹告

鈴木醫院
謹告

鈴木醫院
謹告